

市議会だより さつて



梅雨のなか、鮮やかなアジサイが権現堂公園を彩りました。 

6月定例会のおもなことから

- ・令和2年6月定例会議案 2~4ページ
- ・各常任委員会での審査 5~6ページ
- ・新型コロナウイルス感染症への市議会の対応等 ...7ページ
- ・市政に対する一般質問等 8~15ページ
- ・議決結果の一覧・編集後記 16ページ

No.95
2020年
8月

6月定例議会

令和2年第2回幸手市議会定例会

一般会計補正予算を含む 市長提出議案17件を可決・承認・同意

6月定例会は、6月1日から19日間の日程で開かれました。市長提出議案は、専決処分承認5件、条例案7件、埼玉県市町村総合事務組合の規約変更1件、令和2年度一般会計・特別会計補正予算3件、人事案件2件の合計18件でした。審議の結果17件は原案通り可決・承認・同意となり、人事案件1件は不同意となりました。一般質問は、13人の議員が市政をただしました。

新型コロナウイルス
感染症に対する
緊急経済対策

(議案第31号)
令和2年度幸手市一般会計補正予算
(第2号)(専決第6号)

新型コロナウイルス感染症に対する国の緊急経済対策による令和2年度の補正予算が4月30日に成立しました。

国民1人当たり10万円を給付する特別定額給付金および、児童手当の受給対象児童に対し1人当たり1万円を支給する臨時特別給付金が創設されました。

これらの給付金については、市民生活に直結し迅速に対応する必要がありますから地方自治法第179条第1項の規定により専決処分とされま

(議案第40号)
令和2年度幸手市一般会計補正予算(第3号)

した。歳入歳出それぞれ52億992万3千円が追加補正されました。

令和2年5月1日に国より新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の創設が示されました。

主に新型コロナウイルス感染症拡大を防止すると共に、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援する事業について、歳入歳出それぞれ2億6455万8千円が追加補正されました。

(内容)
・市内全世帯に市指定家庭用ごみ

袋(中)2パックを配布。

・新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少し家賃が払えない人に対し家賃相当分を給付。
・中学生以下の子育て世帯へ幸手産特別栽培米コシヒカリを5キロ給付。

・ひとり親家庭子育て支援臨時給付金として1人当たり3万円の支給。

・ハッピーエールプロジェクトとして、新型コロナウイルス感染症拡大により売上が落ち込んだ市内事業所や、感染予防の対策を取っている市内事業所に補助金5万円の支給。幸手市公式ツイッターやフェイスブックでの情報発信をしての応援。

・登園自粛の要請による公立保育

所、私立保育所の保育料の返還。
・放課後児童クラブの利用自粛に対する保育料の返還。

・市内小中学校の児童生徒全員に1人1台のタブレット端末を確保し、学校内に高速・大容量の通信ネットワークを構築するGIGAスクール構想の今年度内の実施。

・マスク、手指消毒液、感染防止防護服、非接触型体温計の購入(学校、幼稚園、保育所等備品、市防災用備蓄品)。等

(追加議案 議案第44号)
令和2年度幸手市一般会計補正予算(第4号)

国の令和2年度第2次補正予算

が6月12日に可決成立し、ひとり親世帯への臨時特別給付金が支給される事になりました。歳入歳出それぞれ4683万1千円が追加補正されました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を一人で担うひとり親世帯に特に大きな困難が心身に生じていることを踏まえ、こうした世帯の子育て負担の増加や収入の減少に対する支援を行うため、臨時特別給付金を支給することになりました。

(給付額)
・ 児童扶養手当受給世帯等
1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円

・ 収入が減少した児童扶養手当受給世帯等
1世帯5万円

対象者は770人、児童数は617人、給付額は4453万円を見込み。8月より支給開始予定。



令和2年6月定例議会
本会議議案質疑内容

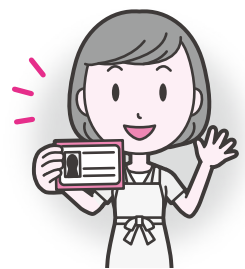
(議案第31号)
専決処分の承認を求めることについて(専決第6号) 令和2年度幸手市一般会計補正予算(第2号)

質疑

国からの予算の内示説明の内容について具体的に伺います。また、市の補正予算の編成に必要な条件が整っていたのかどうか含めてお願いいたします。

答弁

令和2年度幸手市一般会計補正予算(第2号)の専決処分に関しまして、当該補正予算の内容については、特別定額給付金および子育て世帯への臨時特別給付金の給付事業となっています。国からの予算説明の時期については、特別定額給付金が令和2年4月20日付、子育て世帯への臨時特別給付金は同年4月13日付にて、それぞれ事業が実施されることの周知と併せまして、市町村にあっては当



該事業の開始に向けた事前準備を早急に進めること等を依頼する旨の通知がなされています。

通知の内容は補正予算がそれまで4月7日で閣議決定されておりましたが、これを変更するという通知と併せまして、特別定額給付金(仮称)の事業実施について、実施主体、対象者、それから基準日、4月27日現在において住民台帳に記載されている者、また給付対象者が1人につき10万円、そして受給権者が世帯主、また申請方法は申請書類の郵送もしくはマイナンバーカードを活用してのオンライン、また給付開始日については市区町村において決定するという内容でございました。また、併せまして事務について、留意事項ということで事務経費の概算とともに、市区町村の補正予算の早期の編成、成立に向けて、国の補正予算の成立を待たずに手続きを進めるといった内容の通知です。

質疑

臨時議会を開かず、特別定額給付金の専決処分をしたわけですが、給付金申請書を送付する封筒がなく発送が遅れる状況が出ていました。この発送が遅れたことから逆算すると、臨時議会を開催しても特にスケジュール上の問題は生じなかったのではないかと私は考えるのですが、その辺についてお伺いいたします。

答弁

臨時議会の開催の可否については、補正予算(第2号)を編成する必要が生じ、それも50億円を越す予算規模を伴うものですので、臨時議会の開催および議案の提出を検討したところですが、特別定額給付金あるいは子育て世帯への臨時特別給付金は事業の実施主体は市区町村とはしつつも、そのいずれもが全国一律の内容で実施される給付事業であり、また家計への支援を迅速に行うという双方の給付金の趣旨に鑑みまして、可及的速やかにこれら事業の準備を進める必要がありましたことから、専決処分をさせていただいた次第です。

なお、先ほど郵送が遅れたので

はないかということでございまして、これは決して封筒がなかったから遅れたということではなくて、すぐさま専決処分終了後、5月1日付で様々な事務手続きをし、電算を担当しております業者との契約を結び、システム変更等々の必要が生じ、発送が5月22日になったというものです。

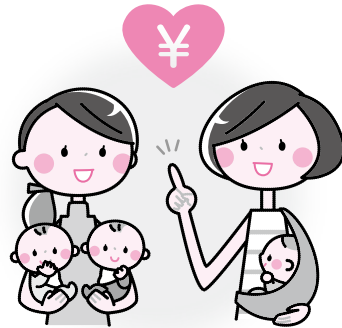


質疑
特別定額給付金および子育て世帯への臨時特別給付金予算の執行状況について伺います。

答弁
特別定額給付金および子育て世帯への臨時特別給付金とも国庫補助金を財源としております、現在まで国から50億6620万円の事業費補助金および5200万円の事務費補助金を収入済みです。

また、子育て世帯への臨時特別給付金においては、現在までに

5130万円の事業費補助金および392万3千円の事務費補助金が収入済みです。



(議案第40号)
令和2年度幸手市一般会計補正予算(第3号)

反対討論

大平泰二

幸手市に対する国のコロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の上限枠は1億7225万円です。ところが、市が国に要求した金額は1億6144万5千円で、なぜ1080万5千円も少なく要求したのでしょうか。これは、市民が願う政策実現に向けた財源措置とは思えません。直ちに改善されることを要望します。

次に、市指定ごみ袋2パックの全世帯への配布事業として、歳入

で衛生手数料1610万円の減額を行っております。そして、その減額を同じ歳入において臨時交付金の一部で補填(天引き)する形をとって計上しております。事業とは予算の歳出をもって行うものです。ごみ袋配布に901万6千円もの配達料を計上することは認められません。

教育分野では、全校の児童生徒にタブレット端末を渡すGIGA教育に臨時交付金の内、901万1千円を計上しております。優先順位に配慮した予算編成への改善を要望し、反対討論といたします。

賛成討論

武藤壽男

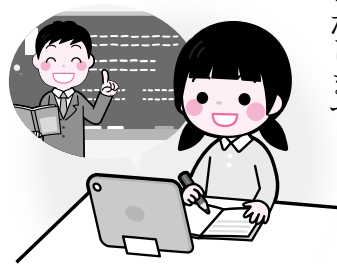
本市は、厳しい財政状況の中にあつて地方創生臨時交付金を有効に活かさなければなりません。国が地方に、また個人にもこれほどまでに交付することはありません。

そういう意味において、国は財政規律を封印し、経済の維持に懸命であります。将来の次世代にどのような後年度負担や影響があるかわかりませんが、世界各国が有史以来の多額の財政出動を行っております。その結果については、将来の歴史の評価を待たなければな

りません。このような中で、市としてはこれらの財政支援を市民の皆さまのために活かさなければならぬと思います。

補正予算においても、市民の皆さまの経済支援、生活支援、感染症対策、災害対策に絞って、簡素でわかりやすく、スピード感のある事業を総合政策部や政策課を中心として速やかに選択し、各部署も積極的に協力して取り組んでいただきたいと思っております。

さらに、GIGA教育予算、生活支援等の執行にあたりましては、効率的な予算執行をお願いし、賛成討論といたします。



人事案件

教育委員会委員

岩崎 万紀子 氏

を任命することに同意いたしました。

総務常任委員会

幸手市税条例の一部を改正する条例 (議案第32号)

問 個人市民税の見直しで影響を受けるのはどの程度か。

答 今回の改正により、これまでの寡婦という呼び方がひとり親という呼び方になり、男性の寡夫控除額が、26万円から30万円に上がる。今まで対象外の未婚の婚姻歴が無い、ひとり親の方についても対象となる。影響額は対象となる方を現在19名ほど把握している。ただし、税率は概算だが1人6%とし所得にも応じる見込みとなるため未確定である。

令和2年度幸手市一般会計補正予算(第3号)(議案第40号)

問 マイナポイント事業費補助金の経緯については。

答 今年の9月から来年3月末まで国が実施する消費活性化策の一つで、マイナンバーカードを利用して国が消費者にポイントを付与

する制度である。付与を受けるためにはマイナンバーカードを使ってマイキーIDを取得してマイナポイント申し込みが必要である。スマートフォン、自宅のパソコンでも操作は出来るが、ICカードリーダー・ライターなどの用意が必要となるため、市役所に特設ブースを設けてマイキーIDの予約作業の補助をするための費用として予算計上した。

問 マイナンバー制度に否定的な感覚を持つ人が多いなか、普及拡大するためにどのような広報をしていくのか。

答 個人情報に関する部分で普及が伸びない要因だと思っている。しかしこの度の定額給付金の支給に関してマイナンバーカードのメリットに関心を持たれた方が非常に多く、たくさんのお問合せをいただいた。このようななかで安全性やメリットを発信しながら、市庁舎全体で総合的に案内しながら、広く市民に広報していく。

問 公債費の利子、60万1千円の

減額理由は。

答 当初予算で借入れするものが当初は0.5%位の利率を予想し予算編成をしたが民間等の資金や国の

文教厚生常任委員会

幸手市国民健康保険条例の一部を改正する条例 (議案第34号)

問 条例改正の内容は。

答 新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に対し、傷病手当を支給するために必要な規定の整備。

問 傷病手当金の上限額と日数制限は。

答 標準報酬月額等級の最高等級の標準報酬月額の30分の1に相当する金額の3分の2に相当する金額。具体的な金額は、令和2年3月現在で、月額3万887円。日数の制限は、その支給を始めた日から起算して、1年6か月以内。

幸手市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 (議案第38号)

問 幸手市の放課後児童支援員の充足率は十分間に合っているか。

答 放課後児童支援員は、原則2名置くこととしており、基準はクリアしている。

令和2年度幸手市一般会計補正予算(第3号)(議案第40号)

問 補助金が交付される民間保育所数は。

答 対象数は20保育所。

問 算定基準は。

答 1つは、新型コロナウイルス感染症対策として備品購入等を伴うもの、例えば、空気清浄器などについて、申請のあった施設に対して補助金を交付するもの。2つめは、今回の新型コロナウイルス感染症対策として、登園を自粛してくださったご家庭に対して、園が副食費を返還する場合に補助金として交付するもの。

問 指定ごみ袋配布業務委託料に係る配布の方法は。

答 レターパックを使用した郵送。

問 タブレット端末を扱う際のフイルターやリテラシー（活用能力）の問題は。

答 ソフトについて、いろいろ今年度検討していく中で、まずもって先に、フイルターについて、導入していきたい。リテラシーの問題については、当然インターネットにひそむ危険というものがあるので、これまでも指導しているが、継続して指導していかなければならないと考えている。

令和2年度幸手市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）（議案第41号）

問 補正予算に計上した傷病手当金200万円を上回るような場合は。

答 不足が生じた場合には、補正予算で再度計上する。

建設経済常任委員会

令和2年度幸手市一般会計補正予算（第3号）（議案第40号）

問 商工振興費のうち、ハッピーエールプロジェクト支援補助金の内容とは。

答 市と商工会が連携して、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者並びにその対策をとっている事業者を応援する目的で、1事業者あたり5万円を限度額として補助するものである。市公式のフェイスブック、ツイッター等で情報を発信していき、新

事業者の皆さまへ

事業の概要



コロナに負けずに頑張る事業所を応援!!

幸手ハッピーエールプロジェクト

応援1 逆境に負けず頑張る事業所を「幸手市公式ツイッター・フェイスブック」等にて情報発信 & PR!!

応援2 幸手ハッピーエールプロジェクトに登録している事業所が、新型コロナウイルス感染症対策として支出した経費について

1 事業所 最大5万円補助支援!!

【募集期間】 9月30日まで
【対象事業者】 幸手市内の事業所
【申込・問い合わせ先】 商工観光課・幸手市商工会

型新型コロナウイルス感染症対策のため、例えば消毒液やデリバリー用の容器の購入、チラシの作成など、領収書の写しを添付すれば補助が受けられるもの。市内の事業者であれば、特に業種・個人・法人の制限はない。

問 企画の立案は。

答 市から商工会に提案し協議した。

問 補助対象となる事業者数は。

答 商工会会員、会員外を合わせて約1200事業所が該当する。

問 補助対象期間、現在の申請状況

況は。

答 補助対象期間は、当初、4月27日から6月30日までを予定していたが、9月30日まで延長する。現在のところ37事業所から応募があり、その内訳は、飲食店関係15店舗、小売り関係10店舗、その他美容室や建設業、塗装業などの関係が12店舗という申込状況である。

問 補助限度額を5万円に設定する考え方は。

答 近隣自治体の状況等の調査を踏まえ、商工会との打ち合わせの中で決定した。

新型コロナウイルス感染症への幸手市議会の対応

幸手市議会においては、即時に新型コロナウイルス対策支援本部を設置し、対応を検討しました。また、市の対策本部と情報の共有を図りました。下記に、市議会議員からの「主な質問・要望」をとりまとめました。

質問

◆教育・学校について

- 学校給食の休止に伴う業者に対する補助について。
- 子どもたちがゲーム三昧とならない対応とインターネット依存への対応について。
- オンライン授業の導入について。

◆給付金関係について

- 幸手市の特別定額給付金の申請開始はいつからになるか。速やかに市民の元に届くための準備は進んでいるかについて。

◆支援・資材関係について

- 1万枚の寄贈頂いたマスクの配布先と枚数について。
- 「新型コロナウイルス対策自宅療養セット」の支給があったら安心である。埼玉県では実施しているかについて。
- 市内病院、老人ホーム、障がい者施設等の現状掌握は

しているかについて。

- 施設の要望があれば市の備蓄品であるマスク、手袋、消毒液等の提供はできるのかについて。

◆予算措置関係について

- 早急に対策にかけられる予算の試算と方針について。

要望

◆啓発・情報発信関係について

- 感染の拡大防止のため、市民が気を付ける点については、もう少し情報発信を強化すること。

◆地域経済について

- 市内のスーパードライバーのカートや買い物かごなどの消毒を徹底するよう依頼すること。
- 市内事業所の実態把握に努めること。
- 特別定額給付金が、市内消費につながるような事業に取り組むこと。

◆事業者支援について

- 新型コロナウイルス感染対応地方創生交付金などを活用し休業などにより売り上げが落ち込んでいる業者に固定費などの援助をすること。

◆危機管理・検査体制について

- 幸手駅、杉戸高野台駅に通勤者用手洗い用消毒液を常備すること。

- 消毒液不足の場合は、桜泉園等に常備している次亜塩素酸液を活用することが可能か専門家に確認すること。
- 発熱外来・PCR検査体制（ドライブスルー等簡易なものを含め）を幸手保健所・北葛北部・南埼玉師会と協力し検査体制の拡充強化を図ること。

- 右記の検査を希望する市民で車の確保が出来ない方には密閉シール空間を備えた専用車を用意すること。
- サイレントキャリアの実態も把握すること。

- 唾液でPCR検査ができるキットを活用し訪問判定もできるようにすること。

- 中等症・軽症者を隔離するためのホテルの借上げや簡易宿泊所（アスカル等に簡易ベットを常設）を設けること。

◆市民への支援について

- 家計負担軽減のため、お米引換券の配布をすること。
- 介護保険の基金（6億6千万円）を活用し加入している高齢者一人に1万円給付すること。
- 国保加入世帯に基金（5億6900万円）を活用し一世帯1万円を交付すること。

◆その他

- 新型コロナウイルス感染症対策に必要な財源が不足する場合は、一般会計で負担している駅西口土地区画整理事業（2億7千万円）や下水道事業（4億7千万円）を削減し確保すること。

市政に対する

一般質問

今定例会では、13人の議員が6月2日、3日、4日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずねるもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

四本奈緒美議員

- 新型コロナウイルスによる学校の臨時休業に伴う対応と今後の市の取り組みについて
- G I G Aスクール構想について

坂本達夫議員

- 新型コロナウイルス対策について（介護福祉施設支援）
- 本庁舎建て替え方針について
- 次期公共交通について

松田雅代議員

- 防犯対策の強化について
- 防災対策の強化について

青木章議員

- 新型コロナウイルス関連の幸手市対応について
- 新型コロナウイルス対策での小・中学校の状況について
- 新型コロナウイルス対策での幸手市事業の見直し等について

藤沼貢議員

- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について

小林英雄議員

- 新型コロナウイルスの影響への対応について

小林啓子議員

- 高齢者の見守りと健康寿命について

枝久保喜八郎議員

- デマンドバスの見直しについて
- コロナ対策の一つとして実施された権現堂公園駐車場の使用中止について
- 非常勤特別職公務員の活動について
- 幸手消防西分署存続案の対応について
- 署名および要望運動の在り方について

本田謡子議員

- 幸手市職員採用試験について
- 市の新型コロナウイルス対策から見た防災について

大平泰二議員

- 災害対策について
- 災害対策の財源確保について

海老沼隆夫議員

- 幸手中央地区産業団地の促進状況について
- 交通安全対策について
- 高齢者対策について

木村治夫議員

- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の172,000,000円の用途について

武藤壽男議員

- 新型コロナウイルス感染症による市への影響および市の対応と今後について
- 市長の事務執行の方針について

6月定例会の議会運営について

幸手市議会においては、新型コロナウイルス感染症への対応を図るため、次の取組みを実施致しました。

- 「一般質問」の議員1人あたりの質問時間をこれまでの「45分以内」から「30分以内」に短縮。
- 本議会、委員会等における理事者の出席を最小限にし、出席者の座席の間隔を保持。
- 本議会、委員会等では、マスクを着用。
- 本議会場、委員会室での2方向からの換気を実施。
- 傍聴席の座席の間隔を保持（15席）。
- 消毒液の設置。
- ※ 各常任委員会の行政視察は、中止することに決定しました。

- それぞれの内容の詳細は会議録および市議会ホームページ（インターネット映像配信システム）でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、市役所の情報公開コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 6月定例会の会議録は9月上旬頃公開予定です。

GIGAスクール構想の実現について



四本奈緒美議員

Q GIGAスクール構想とは、小中学生にパソコンやタブレット端末を1人に1台確保し、学校内に高速大容量の通信ネットワークを構築する計画である。

これにより校内での活用はもとより、学校と家庭を繋いでのオンライン授業も可能となり、緊急時の学校の長期休校の際も

子供達の学びの確保が出来る。誰一人取り残さない為の幸手市の今後の取り組みを伺う。

A 国の令和元年度補正予算である公立学校情報通信ネットワーク環境施設費補助金を活用して、今年度中に市内の全小・中学校に高速大容量のネットワークに対応した校内LANを整備する。

また、国の令和元年度補正予算である学校情報機器整備費補

助金および新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、今年度中に市内小・中学校の全児童・生徒に、一人一台のタブレット等の端末を整備する。
(教育部長)



次期公共交通について



坂本達夫議員

Q 令和3年4月から運行が予定されている次期公共交通制度について、次の項目を伺います。

①今年の3月に実施したアンケート結果の概要。②アンケート結果を踏まえた次期公共交通の基本的な考え方。③次期公共交通の運行にあたっては、利用者目標数値を想定する予定か。

A ④これまでに寄せられた公共交通についての意見等は、次期公共交通制度に反映させる用意はあるのか。

A 3月に実施したアンケート結果では、今後幸手市内で運行を希望する公共交通に対する問いに、循環バスを希望する回答が73・8%と多かった。

次期公共交通は、アンケートで希望の多かった循環バスを中

心に、今後協議していきたいと考えている。次期公共交通については、利用者の増加を目指し、またこれまでの公共交通に対する意見も踏まえて検討していきたい。さらに、市内公共交通事業者との連携を図り、相互に補いながら市民ニーズに応えた公共交通としていきたいと考えている。
(市民生活部長)

台風19号の反省に基づく水害強化策の進捗は



松田雅代議員

Q

昨年の台風19号避難勧告発令があぶり出した幸手市の危機管理体制の問題は、大きくは

①内水対応から外水対応にシフト替える判断のあり方
②避難場所運営の不統一の2点であった。宿題となっていた避難所（避難場所）運営マニュアルの作成の進捗は。

A

特に避難場所開設では施設管理者との事前協議不足、災害情報の提供など市民からの指摘もある。災害時の情報提供は重要であり防災メールが有効と考える。登録者拡大を進めるべきでは。

昨年の台風19号の際は、避難場所の開設運営に大きな課題を残したことから新たに幸手市避難所運営マニュアルを作成した。今後、このマニユ

アルを活用し、避難場所等の開設時に担当する職員をあらかじめ決めておく等の体制確保に努める。また、地域や自主防災組織との協働による運営について、検討を進めていく。

防災メールについては、広報紙にてお知らせしているが、今後、テレホンサービス等と併せ、防災情報伝達に努める。

（市民生活部長）

新型コロナウイルス対策での学校の対応



青木 章議員

Q

新型コロナウイルス感染症の拡大防止については、緊急事態宣言が終了したものの東京アラートが発令されるなど、未だ3密を避けソーシャルディスタンスをとらなければならぬ状況です。6月1日から学校が再開したものの、長期の休みで保護者から多くの心配ごとが寄せられています。そこ

で①学習の遅れに対する対応②夏休みの短縮等の考え方③今後の学校行事の見直し④特に修学旅行の取り扱いについて伺います。

A

幸手市教育委員会では、学習の遅れに対して、夏季休業期間を短縮することで授業時数を確保したり、学習内容の重点化を図ったりしながら適切に対応するよう各学校に指示しております。また、今後の学

校行事については、実施の有無や内容の見直しを図りながら精選してまいります。しかしながら学校教育ならではの学びや経験も大切に観点から、特に修学旅行については、時期を變更する等して実施ができるよう進めてまいります。（教育長）

地方創生臨時交付金活用の考え方について



藤沼 貢議員

Q 新型コロナウイルス感染症防止に向けた地方創生臨時交付金を活用した事業計画について、特に、法人や個人事業所への経済支援についての考え方を伺う。

また、クラスターが発生した場合に備えた介護施設や医師会との協議について、どのように考えているか伺う。

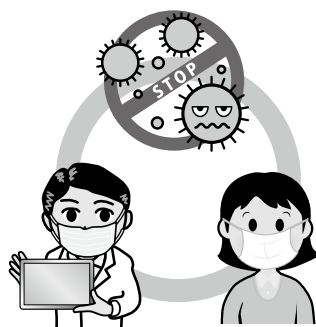
A 国の感染拡大防止等の基本項目を基に計画の策定を行った。

感染予防としてマスク等の購入、生活支援として指定ごみ袋の全世帯配布のほか、経済活動の回復等を目的としたハッピーエールプロジェクト参加事業者への支援等を予算計上した。

また、介護施設から状況確認を、医師会と話し合いの機会を設けてきたが、対応や協議を十分に尽くしているものではない

と認識している。第二波・第三波に備え、密に連携できるように今後協議を重ねてまいりたい。

(総合政策部長・健康福祉部長)



新型コロナウイルスの影響・ゴミへの対応は



小林英雄議員

Q コロナウイルスの感染拡大を防ぐ為の外出自粛の長期化で、長い時間を家庭で過ごすこととなった。その時間を有意義に使う為の方法として、マスクにより盛んに断捨離のやり方が放送されていた。その影響もあってか自治体によっては、不用品等の持ち込みを一時的に中止とした。また、外食の

回数も減り、自炊・テイクアウト等で自宅で食事を取る家庭が多くなり、可燃ごみ等も増えているとの話を聞く。市におけるゴミの排出量の変化・対応について伺う。

A 外出自粛が求められたことで、令和2年4月に家庭から排出された可燃ごみは、平成31年4月に比べ約1.5%の増加、家庭ごみ全体で約6.5%の増加が見られた。

新型コロナウイルスなどの感染症の感染拡大を防ぐために有効とされる、マスクなどのごみの捨て方や、ごみの排出抑制、分別や収集のルールの確認など、円滑で安全なごみの収集と処理を行うための情報を中心に、広報紙やホームページで発信を行っている。

(市民生活部長)

高齢者の見守りと健康寿命



小林啓子議員

Q 幸手市では4月1日現在、高齢化率が34・40%である。

新型コロナウイルス感染症を防ぐため、健康面での様な取り組みを行ってきたのかを伺う。

また、特別定額給付金の詐欺にあわないための注意喚起について伺う。

幸手市では今後、高齢化が進み、市民の健康寿命に対しての取り組みが益々重要となる。

地方創生臨時交付金を活用して、住民生活の維持として、移動スーパー等の生活支援事業を行ってはどうかを伺う。

A 高齢者の認知機能、身体機能の低下を防ぐため、市

オリジナルの計算ドリルや自宅で行えるストレッチ体操のチラシを作成し広報紙等で周知した。特別定額給付金に関する詐欺被害防止のため、市内各所にポスターを掲示し、定額給付金の申請書にチラシを同封するなどの注意喚起を行

った。移動スーパー等の生活支援事業は、中山間地域ではない首都圏の自治体でも民間企業と連携し実施しているところがある。住民生活の維持に有効であるか注視していく。

(健康福祉部長・市民生活部長)



東部消防組合幸手西分署の存続について



枝久保喜八郎議員

Q 5月14日に提示された「救急ステーション化」

案に対し、幸手市の回答をいつまでに示す必要があるのか。また、この案に幸手市が否定的な結論を出した場合、組合側の対応や組合運営にどういった影響が予測されるか。

5月20日に、一部住民が63名の署名による更なる要望書を組

合に提出しているが、こうした行為が続く事に対してどのよう感じるか。また、この署名には区長および市内学校の要職にある方々の肩書付きのものが多数あるが、これについての見解は。

A 市の回答は、遅くとも、消防組合の来年度予算編

成作業の9月頃までには示すべきと考えている。また、結論を示せない場合、組合運営への影

響や他の管理者(構成市町)との信頼を損ねることも考えられる。

署名行為そのものは違法ではないが、一般的には教育を通じて奉仕する教育公務員が政治的行為であると疑念を持たれるような行動は慎むことが望ましいと考える。なお、区長設置要綱では、市以外への要望等を区長の職務として規定していない。

(市長、教育長、市民生活部長)

市職員の民間企業等職務経験者採用試験は



本田 謡子議員

Q 幸手市の職員採用試験には、民間企業等職務経験者採用試験がある。一次試験は1200字の論文、二次試験は面接である。年齢も45歳まで受験可能。近隣の市町を見ても、一次試験が論文だけの所は見当たらない。まして45歳という年齢も35歳止まりであり、新卒予定者と同じ枠で受験しているこ

とが多い。そこで、この採用試験が始まった経緯と今後の対策を伺う。

A 民間企業等職務経験者採用試験は、職員の年齢構成等の適正化および民間企業等での経験・知識技能を活用し、即戦力として中堅職員の確保を図るため、平成30年度から実施している。

また、雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った就職氷河期

世代の中途採用促進が社会的要請となっており、幸手市では45歳までの採用に積極的に取り組んでいる。

今後、受験者数の増加に向け工夫を重ね、より良い人材確保に努めていく所存である。

(総務部長)

新型コロナウイルスPCR検査について



大平 泰二議員

Q 今後の新型コロナウイルス感染症流行に備えた、抗原検査、PCR検査、抗体検査体制を築くことについて、県に対する要望も含め伺います。

また、唾液でPCR検査ができるキットを活用した訪問判定も出来るようにすることについても伺います。

A 県からの委託を受け、北葛北部および南埼玉郡市医師会においても、共同でPCR検査センターを開設した。今後、感染疑い者が速やかに検査を受けられるよう、検査体制の充実を県に要望すると共に市として協力支援ができるか検討してまいりたい。

唾液によるPCR検査は、患者や医療機関の負担を軽減し、扱う医療機関が増えることが期待されるが、訪問判定について

は、感染予防や検体の保管方法等に課題もあり、現時点での普及には課題を含んでいる。

(健康福祉部長)



幸手団地へのエレベーターの設置について



海老沼隆夫議員

Q 高齢者人口の割合が増えて来ている中、高齢者の健康寿命を高めるためには、栄養・運動そして社会参加等が必要ですか。

幸手団地における住民が、社会参加する上で、エレベーターの設置はどうしても必要です。UR都市機構からは、令和2年度内には調査を終え、令和3

年度からは設置計画との答弁があったのですが、今回のコロナ問題を理由に、計画を反故にしないか心配です。

市がどの様に都市機構に対応して頂けるのかをお伺いします。

A UR都市機構による「団地再生事業」について、

同機構と当市は情報共有や協議の場を設けております。

その中で幸手団地のエレベーター設置については、令和元年

度に現地調査の実施、令和2年度から土質調査、行政協議および基本設計、令和3年度以降に実施設計、本体工事の発注の予定である旨、同機構から報告を受けています。

当市としては、今後とも事業経過についての確に把握し、住民の皆様の声が反映されるように引き続き要望してまいります。

(総合政策部長)

感染症対応地方創生臨時交付金の用途を問う



木村治夫議員

Q 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金1億7千2百55万2千円が国より幸手市の限度額として示された。

市の「新型コロナウイルス感染症に対する対応」感染拡大の防止施策、医療提供体制の整備施策、「新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた」地域経

済支援、住民生活支援の市の施策を伺う。今後の感染拡大防止の為に、当初予算予備費を活用し、市民の安心・安全を保障することが、重要と考えるが市の見解を伺う。

A 新型コロナウイルス感染症に対する感染拡大の防止や地域経済・住民生活を支援するため、マスクや消毒液の購入、子育て世帯幸手産特別栽培米コシヒカリ給付事業やひと

り親家庭子育て支援臨時給付事業、指定ごみ袋の全世帯配布事業、小中学生1人1台の学習端末の整備、ハッピーエールプロジェクト支援事業に対する補助などの予算を計上した。今後、緊急を要する事案が生じた場合、財政調整基金の取り崩しや予備費を活用し、迅速に対応したい。

(市長)

6月定例会 会期日程

- 6月1日(本会議)
 - ・開会・会期の決定・報告事項
 - ・市長提出議案一括上程、提案理由説明
- 6月2日・3日・4日(本会議)
 - ・市政に対する一般質問
- 6月10日(本会議)
 - ・議案に対する質疑
 - ・議案の委員会付託
- 6月11日(委員会)
 - ・総務常任委員会
- 6月12日(委員会)
 - ・文教厚生常任委員会
- 6月15日(委員会)
 - ・建設経済常任委員会
- 6月19日(本会議)
 - ・委員長報告、質疑、討論、採決
 - ・閉会

議会を傍聴しませんか

議会では日常生活にかかわる条例や事業の予算などを審議し、決定しています。ぜひ、傍聴にお出かけください。

6月定例会

傍聴者

70人の方が傍聴されました。

議会インターネット中継のアクセス件数

インターネットを利用した議会中継(ライブ及び録画)を行っております。

4月	141件	5月	120件	6月	3067件
----	------	----	------	----	-------

の方が視聴されました。

新型コロナウイルス感染症の市財政に及ぼす影響は



武藤 寿男 議員

Q

この度の新型コロナウイルス感染症は、感染症そのものと共に、地域経済における市内の事業者、小売業者、サービス業者をはじめ多くの市民に大きな経済的影響をおよぼしている。

第二波、三波が心配される中で今後とも、感染防止策、生活支援策、経済活動の支援策等の

対応の実施が求められている。このように経済の落ち込みの中では、市の財政にも影響は大きいと思われるが、どのような影響があるか、財政運営はどうなさるか伺う。

A

当初予算に比べ、景気の悪化や雇用の喪失等による市税収入の落ち込みや地方消費税交付金をはじめとした各種交付金の減額等により、非常に厳しい財政状況が予想される。

また、来年度についても、景気の低迷、雇用の悪化の長期化が予想され、財政の立て直しを図っている最中である幸手市にとっては非常に厳しい財政状況が続くことが想定される。

地方交付税の動向や減収補てん債等の活用も検討しながら対応していきたい。

(総合政策部長)

幸手市議会からの お知らせ

◆9月定例会の開催予定◆

令和2年9月定例会は、9月1日(火)から28日(月)までの28日間にわたって開催する予定です。

《9月定例会の主な内容》

- 9月1日
 - 開会・会期の決定・報告事項・市町提出議案一括上程、提案理由説明
- 2・3・4日
 - 市政に対する一般質問
- 10日
 - 議案に対する質疑・議案の委員会付託
- 11・14日
 - 文教厚生常任委員会
- 15・16日
 - 総務常任委員会
- 17・18日
 - 建設経済常任委員会
- 28日
 - 委員長報告・質疑・討論・採決・閉会

※各会議は午前10時開始予定です。また、会議の予定は変更となる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

◆議会傍聴のご案内◆

本会議、常任委員会、議会運営委員会は原則公開しており、どなたでも傍聴することができます。

傍聴を希望される方は、市役所本庁舎3階の議会事務局までお越しいただき、傍聴申込書に住所・氏名を記入し、傍聴券を受け取ってください。事前予約は不要です。

傍聴は、市議会の活動にふれることができます。身近な方法ですので、ぜひお越しください。

【注意事項】

- ・傍聴席では飲食禁止です。
- ・携帯電話の電源は必ずお切りください。
- ・写真撮影、録音はしないでください。

◆議会中継のご案内◆

市議会の本会議については、インターネットによる中継を行っており、本会議の開会中にご覧いただける「ライブ中継(生中継)」と、いつでも視聴ができる「録画中継」の配信をしています。中継は、スマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけます。

令和2年6月定例会 提出された議案の結果

公明党…公 幸手市政クラブ…幸 自民党…自 新政会…政 新緑…緑 日本共産党…共 無所属…無 (○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席)

(幸手市長提出議案)

議案番号	議案名	議席番号・議員名															付託委員会	議決結果
		1 四本奈緒美(公)	2 坂本達夫(自)	3 海老沼隆夫(共)	4 小林英雄(政)	5 枝久保喜八郎(無)	6 宮杉勝男(政)	7 本田謡子(政)	8 小河原浩和(緑)	9 小林啓子(公)	10 松田雅代(幸)	11 木村治夫(自)	12 藤沼貢(自)	13 青木章(緑)	14 武藤壽男(幸)	15 大平泰二(共)		
議案第27号	専決処分の承認を求めることについて(専決第2号) 幸手市税条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員承認
議案第28号	専決処分の承認を求めることについて(専決第3号) 幸手市都市計画税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員承認
議案第29号	専決処分の承認を求めることについて(専決第4号) 幸手市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員承認
議案第30号	専決処分の承認を求めることについて(専決第5号) 幸手市介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員承認
議案第31号	専決処分の承認を求めることについて(専決第6号) 令和2年度幸手市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員承認
議案第32号	幸手市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務	賛成全員可決
議案第33号	幸手市都市計画税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務	賛成全員可決
議案第34号	幸手市国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第35号	幸手市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第36号	幸手市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第37号	幸手市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第38号	幸手市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第39号	埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務	賛成全員可決
議案第40号	令和2年度幸手市一般会計補正予算(第3号)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	総務 文教厚生 建設経済	賛成多数可決
議案第41号	令和2年度幸手市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第42号	副市長の選任について	×	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	—	賛成少数不同意
議案第43号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成多数同意
議案第44号	令和2年度幸手市一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決

(議員提出議案)

—	請願第1号((仮称)県営幸手権現堂公園駅の設置について 幸手市議会の決議を求める件)の取下げについての件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員承認
---	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------

議会広報編集委員

- 委員長 宮杉勝男
- 副委員長 小林啓子
- 委員 四本奈緒美
- 委員 枝久保喜八郎
- 委員 本田謡子
- 委員 小河原浩和
- 委員 松田雅代
- 委員 木村治夫
- 委員 大平泰二

編集後記

6月議会の主な議論は、国の1次補正にとまなう新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金1億6144万5千円を財源とした予算内容でした。緊急事態宣言が解除された今でも、東京や埼玉で感染者が増え続け、未だ予断を許さない状況です。第2波、第3波に備えた警戒態勢が必要です。次の2次補正にとまなう新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の幸手市分は4億6573万5千円。その予算化は今後の臨時議会で決まります。市民生活を守るための予算を目指します。

